



おづっこ



おもいを伝え合う子 つづける子 つよくしなやかな子 ころあたたかな子

自分で考え自分で決め実行する

いよいよ子どもたちにとって楽しい夏休みが始まります。夏休みは、いままでの生活や学習を見つめ直すとともに、日頃できない様々な経験や体験ができるチャンスです。また、子どもたちを地域で育てていただく絶好の機会でもあります。ラジオ体操やさまざまな行事が行われる地域もあるでしょう。家族で出かけたり、各種イベント等へ参加したりして新しい興味・関心を見いだしてほしいと思います。



シモーネ バイルズさん

今年の夏は、4年に一度のスポーツの祭典「オリンピック・パラリンピック」が、フランスのパリで開催されます。前回の2020東京オリンピック・女子体操競技で起きた出来事についてお話しします。

アメリカの体操選手「シモーネ バイルズ」さんは、2016リオオリンピックで、4つの金メダルと1つの銅メダルを獲得した有力選手でした。当然、東京でも人気・実力ともにナンバーワンなので、金メダルをいくつ獲得するのかが話題になっており、大会で最も注目・期待されている選手の1人でした。世界中の大きな期待を背負って出場した団体総合決勝戦の演技中、混乱して心と体が一致しなくなる「ツイスティ」に陥ってしまったのです。演技後に泣きそうな表情でコーチのもとに駆け寄り、数分後、「棄権」が発表されました。バイルズさんは棄権後のインタビューで、「ストレスが高い状況に置かれるたびに、パニックのような状態になる」と告白しました。そして、「私は心の健康に集中しなければならない。（あのままの状態を続けることで）自分の健康と幸福を損なうわけにはいかなかった。」と語っています。世界の舞台上で活躍するトップアスリートも人間です。心が「もうこれ以上は続けられない。」と悲鳴をあげたときには、思い切って棄権する勇気が大切だと感じた出来事でした。

さて、バイルズさんはその後、どうされていると思いますか。棄権されたとき、多くの方が「残念だけどこのまま引退かなあ」と思っていました。しかし、2年間の休養を経て、昨年選手として復帰されました。そして、なんとパリオリンピックのアメリカ代表選手として出場することが決まっています。つらい経験から大切なことを学び見事に復活された姿に、私たちが学ぶことは多いです。

パリオリンピック・パラリンピックには、日本からもたくさんのアスリートが出場します。ぜひ観戦して、スポーツを楽しみ、アスリートたちを応援しましょう。

43日間の長い夏休みです。自分自身を鍛え成長させ、2学期からの生活をより充実させるパワーを蓄えましょう。

保護者の皆様・地域の皆様には、子どもたちの安全な登下校のための見守りや体験活動等で、1学期たいへんお世話になりました。今後よろしくお願いたします。



夏休み前の「地区分団会」